

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成24年11月13日

**【四半期会計期間】** 第28期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

**【会社名】** クボテック株式会社

**【英訳名】** KUBOTEK CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 久保哲夫

**【本店の所在の場所】** 大阪市北区中之島4丁目3番36号 玉江橋ビル内

**【電話番号】** 06(6443)1815

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 柿下尚武

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市北区中之島4丁目3番36号 玉江橋ビル内

**【電話番号】** 06(6443)1815

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 柿下尚武

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第27期 第2四半期 連結累計期間		第28期 第2四半期 連結累計期間		第27期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		2,490,040		792,663		3,328,625
経常利益又は経常損失( )	(千円)		126,635		333,670		235,502
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失( )	(千円)		94,674		343,953		262,133
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		97,986		355,232		259,036
純資産額	(千円)		2,072,216		1,359,961		1,715,193
総資産額	(千円)		6,758,202		5,338,929		5,697,252
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期(当期)純損失金額( )	(円)		687.64		2,498.21		1,903.94
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		30.7		25.5		30.1
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		128,080		56,948		511,908
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		85,529		80,558		140,880
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		596,583		80,508		493,158
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		2,912,219		2,165,981		2,106,452

回次		第27期 第2四半期 連結会計期間		第28期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 又は四半期純損失金額( )	(円)		492.19		998.74

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第27期第2四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため、第27期及び第28期第2四半期連結累計期間は1株当たり四半期(当期)純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当社グループは積極的な営業活動と製品開発、徹底したコスト削減に取り組み、売上と利益の確保に努めてまいりましたが、液晶を始めとするフラットパネルディスプレイ(FPD)分野における厳しい受注環境の影響により、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高792百万円（前年同四半期比68.2%減）、営業損失333百万円（前年同四半期は営業利益134百万円）、経常損失333百万円（前年同四半期は経常利益126百万円）、四半期純損失は343百万円（前年同四半期は四半期純利益94百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

日本セグメントでは、主力製品である画像処理外観検査装置の販売が大手FPDメーカーの設備投資抑制の影響を大きく受けました。この結果、売上高は466百万円（前年同四半期比78.9%減）、セグメント損失は333百万円（前年同四半期はセグメント利益145百万円）となりました。

米国セグメントでは、CAD/CAMソフト「KEYCREATOR」を中心に販売が増加し、損失が縮小しました。この結果、売上高は165百万円（前年同四半期比38.4%増）、セグメント損失は13百万円（前年同四半期はセグメント損失52百万円）となりました。

韓国セグメントでは、画像処理外観検査装置関連で前年同四半期並みの売上を確保しましたが、売上構成の変化などにより原価率が上昇しました。この結果、売上高は160百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期はセグメント利益24百万円）となりました。

#### (2)財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ358百万円減少しました。流動資産は現金及び預金の増加59百万円、売上債権の減少353百万円、たな卸資産の減少10百万円などから335百万円減少しております。

負債は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少しました。流動負債は仕入債務の減少42百万円、短期借入金の増加313百万円などから225百万円増加しました。固定負債は長期借入金の減少232百万円などにより、228百万円減少しております。

純資産は、四半期純損失343百万円の計上などにより、純資産合計が355百万円減少しました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて59百万円増加し、2,165百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は、56百万円（前年同四半期比55.5%減）となりました。

これは主に、減価償却費の計上103百万円、売上債権の減少355百万円による資金増加、税金等調整前四半期純損失339百万円による資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、80百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。

これは主にソフトウェアの取得による支出77百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果取得した資金は、80百万円（前年同四半期比86.5%減）となりました。

これは主に短期借入金の純増額200百万円、長期借入による収入200百万円による資金増加、長期借入金の返済による支出319百万円による資金減少によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は41百万円であります。

(6) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産及び販売の実績が減少しております。FPD分野はスマートフォン、タブレット端末などの中小型パネル市場が好調な一方で、液晶テレビなどの大型パネル市場が低調に推移し、全体として厳しい状況が続いております。このような状況から、FPDメーカーの投資計画が変動し、日本セグメントの主力製品である画像処理外観検査装置の受注が低迷したためであります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	400,000
計	400,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	138,300	138,300	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株制度を採用し ておりません。
計	138,300	138,300		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日		138,300		1,951,750		

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
久保哲夫	大阪市淀川区	27,783	20.09
久保美津子	大阪市淀川区	14,000	10.12
久保元	大阪市淀川区	14,000	10.12
久保宜子	大阪市淀川区	14,000	10.12
久保典子	大阪市淀川区	14,000	10.12
久保朋子	大阪市淀川区	14,000	10.12
久保成一	京都市東山区	1,500	1.08
クボテック従業員持株会	大阪市北区中之島4丁目3-36	1,342	0.97
久保仁	神戸市東灘区	750	0.54
久保充	千葉県市川市	750	0.54
計		102,125	73.84

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 620		
完全議決権株式(その他)	普通株式 137,680	137,680	
発行済株式総数	138,300		
総株主の議決権		137,680	

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) クボテック株式会社	大阪市北区中之島4丁目 3番36号 玉江橋ビル内	620		620	0.45
計		620		620	0.45

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,199,202	2,258,744
受取手形及び売掛金	999,291	645,894
商品及び製品	7,200	4,961
仕掛品	368,946	389,820
原材料及び貯蔵品	202,347	173,147
その他	72,230	33,711
貸倒引当金	76,006	68,947
流動資産合計	3,773,213	3,437,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	509,686	496,693
土地	1,117,578	1,117,578
その他(純額)	57,930	51,788
有形固定資産合計	1,685,194	1,666,059
無形固定資産		
のれん	56,666	46,666
ソフトウェア	120,541	129,215
その他	2,285	2,285
無形固定資産合計	179,493	178,167
投資その他の資産		
その他	59,350	57,371
投資その他の資産合計	59,350	57,371
固定資産合計	1,924,039	1,901,598
資産合計	5,697,252	5,338,929
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	222,367	180,161
短期借入金	2,128,000	2,441,000
未払法人税等	6,414	6,209
賞与引当金	9,260	9,300
その他	383,840	338,984
流動負債合計	2,749,881	2,975,656
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,081,000	849,000
退職給付引当金	46,989	50,124
その他	4,187	4,187
固定負債合計	1,232,177	1,003,312
負債合計	3,982,059	3,978,968



	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,951,750	1,951,750
利益剰余金	214,573	558,527
自己株式	81,658	81,658
株主資本合計	1,655,518	1,311,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,908	-
為替換算調整勘定	62,583	48,397
その他の包括利益累計額合計	59,675	48,397
純資産合計	1,715,193	1,359,961
負債純資産合計	5,697,252	5,338,929

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,490,040	792,663
売上原価	1,743,488	638,626
売上総利益	746,551	154,036
販売費及び一般管理費	611,799	487,651
営業利益又は営業損失( )	134,752	333,614
営業外収益		
受取利息	226	134
受取配当金	54	85
受取賃貸料	5,344	5,337
為替差益	3,292	2,344
貸倒引当金戻入額	-	7,113
その他	685	1,175
営業外収益合計	9,602	16,191
営業外費用		
支払利息	14,779	16,246
その他	2,940	1
営業外費用合計	17,720	16,247
経常利益又は経常損失( )	126,635	333,670
特別損失		
投資有価証券評価損	-	6,116
関係会社出資金評価損	13,545	-
特別損失合計	13,545	6,116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	113,089	339,786
法人税等	18,414	4,166
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	94,674	343,953
四半期純利益又は四半期純損失( )	94,674	343,953

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	94,674	343,953
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	612	2,908
為替換算調整勘定	3,923	14,186
その他の包括利益合計	3,311	11,278
四半期包括利益	97,986	355,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,986	355,232
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	113,089	339,786
減価償却費	119,196	103,665
貸倒引当金の増減額( は減少)	14,497	7,113
賞与引当金の増減額( は減少)	-	40
退職給付引当金の増減額( は減少)	10,597	3,135
受取利息及び受取配当金	280	220
支払利息	14,779	16,246
為替差損益( は益)	22	254
関係会社出資金評価損	13,545	-
投資有価証券評価損益( は益)	-	6,116
売上債権の増減額( は増加)	140,141	355,142
たな卸資産の増減額( は増加)	145,278	7,612
仕入債務の増減額( は減少)	141,152	44,167
未払消費税等の増減額( は減少)	7,144	20,139
その他	68,763	5,247
小計	196,300	75,536
利息及び配当金の受取額	156	207
利息の支払額	14,883	14,594
法人税等の支払額	53,492	4,201
営業活動によるキャッシュ・フロー	128,080	56,948
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	1,249	1,280
有形固定資産の取得による支出	10,018	1,656
無形固定資産の取得による支出	1,013	545
ソフトウェアの取得による支出	78,892	77,074
その他	5,644	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	85,529	80,558
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	100,000	200,000
長期借入れによる収入	900,000	200,000
長期借入金の返済による支出	403,000	319,000
その他	416	491
財務活動によるキャッシュ・フロー	596,583	80,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,148	2,630
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	642,282	59,529
現金及び現金同等物の期首残高	2,269,936	2,106,452
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,912,219	2,165,981

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
1 税金費用の計算 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。  
なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
支払手形	19,947	40,066

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給料手当	230,655	222,121
退職給付費用	11,265	7,095
支払手数料	55,671	55,345
広告宣伝費	18,078	16,285
減価償却費	15,046	10,727
のれん償却額	10,000	10,000
貸倒引当金繰入額	17,362	
賞与引当金繰入額		3,812

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	3,006,475	2,258,744
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	94,256	92,762
現金及び現金同等物	2,912,219	2,165,981

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	2,208,596	119,339	162,104	2,490,040
セグメント間の内部売上高 又は振替高	95,955	6,707	26,380	129,043
計	2,304,551	126,047	188,484	2,619,083
セグメント利益又は損失( )	145,790	52,599	24,098	117,289

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	117,289
セグメント間取引消去	3,310
その他	14,152
四半期連結損益計算書の営業利益	134,752

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	韓国	
売上高				
外部顧客への売上高	466,870	165,115	160,677	792,663
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72,466	6,113	18,364	96,944
計	539,337	171,228	179,041	889,607
セグメント損失( )	333,584	13,198	345	347,128

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
  主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	347,128
セグメント間取引消去	3,136
その他	10,377
四半期連結損益計算書の営業損失( )	333,614

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、当社は法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、日本セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント損失に与える影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	687円64銭	2,498円21銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	94,674	343,953
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	94,674	343,953
普通株式の期中平均株式数(株)	137,680	137,680

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第2四半期連結累計期間は潜在株式が存在しないため、当第2四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

クボテック株式会社  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中 川 一 之	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	和田林 一 毅	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているクボテック株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、クボテック株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。